

国語

<成果>

- ・文の読み取りでは、場面の様子や登場人物の行動など、話の内容を捉えることができ、音読にも活かした。
- ・平仮名や、片仮名、漢字の読みを正しくに覚えたり、書き写したりできるようになった。

<課題>

- ・片仮名が正しく書けない児童がいる。
- ・文章を書く際に、習った漢字を使うことには個人差がある。

算数

<成果>

- ・たし算や、ひき算の学習において計算の仕方を図や言葉を使って、自分の考えをノートに書き記したり、友達に伝えたりすることができた。

<課題>

- ・時刻を正しく読むことに、個人差があった。

	児童の実態	おおむね良好：○ 改善が必要：△	授業改善プラン
国語	●知識・技能 ・漢字を正しく読むができるようになってきたが、文章内で、既習の漢字を適切に用いたり正しい書き順で記したりことについては、個人差がある。 ・作文など積極的に取り組める児童もいるが、拗音、促音、長音、助詞、片仮名の表記が定着していない児童もいる。 ・原稿用紙の使い方で、文の冒頭で一字空けるべきところを詰めて書いている児童がいる。 ●思考・判断・表現 ・読み聞かせや読書を楽しみ、登場人物の心情や様子を読み取ることができてきた。 ・交流活動を生かし、自分の考えを深めたり広げたりすることが難しい。 ●主体的に学習に取り組む態度 ・読書に親しんだり、家庭学習で音読や暗唱にすすんで取り組んだりする児童が多い。	△ ○ △ ○	・作文や日記に継続的に取り組ませ、文章を書く機会を増やことで定着を図る。 ・交流の視点を明確化し、考えの変容を言語化する時間を設定する。 ・自発的に取り組んだ学習活動には、価値付けを行う。
算数	●知識・技能 ・たし算・ひき算の筆算は、理解している児童が多いが、期間が空くとあやふやになってしまう児童もいる。特に繰り下がりのある筆算は苦手な児童が多い。 ・長さやかさの学習では、細かい数値を読み取ったり、単位の変換をしたりすることに課題がある児童がいる。 ・時間の概念や区別の理解が不十分である。	△ △ △	・デジタルドリルや復習プリントを活用し、確実な定着を目指す。 ・日常の生活の中で、長さやかさ、時間に関する事を取り上げ、実体験から定着できるようにする。

	●思考・判断・表現 ・問題への理解力は高いが、表現が変わると、つまづく児童が多い。 ・文章問題の読解の不十分さからか、聞かれていることに対して正しく正答できていない（例：枚数を訊かれているのに、数字だけで解答する） ●主体的に学習に取り組む態度 ・積み上げによる学習への定着があり、意欲が高い児童がいる一方、個人差がある。	△ △ △	・自分の考えをもつ時間を十分に確保する。友達との対話を通して、自分の考えを広げる。 ・問題を音読することを徹底させる。 ・個別に指導する時間を確保する。
生活	●知識・技能 ・身の周りの事象に気付き、自分なりの技能で表現できる。 ・具体的な活動や体験、伝え合いや振り返りの中での気づきの質が不十分であるため、全体で深めることができない。 ●思考・判断・表現 ・自分の思いを実現するための方法を教わり、積極的に表現しようとする児童が多い。 ・動植物を観察する視点が画一的になりがちなので、広く気づきをもたせることに課題がある。 ●主体的に学習に取り組む態度 ・自分の町について興味や関心をもつ児童が多い。	○ △ ○ △ ○	・小グループでの話し合いや発表会など、友達と交流する機会を設けることで友達の考えのよいところに気付けるようにする。 ・絵や文で表現する際のポイントを先に伝え、表現することへの見通しをもたせる。
音楽	●知識・技能 ・歌う際には、自然に身体が動き、楽しそうに歌うことができる。 ・正しい音程で歌うことができる児童が多い。 ・鍵盤ハーモニカの技能に差が見られる。 ●思考・判断・表現 ・曲に合わせ、すすんで2拍子・3拍子のリズムで手拍子を行うことができる。 ●主体的に学習に取り組む態度 ・鍵盤ハーモニカの練習を休み時間に行ったり、音楽室に行って直接指導を受けたりして進んで取り組んでいる。	○ ○ △ ○ ○	・夏休みなどの長期の休みを利用し、家庭でも繰り返し練習するように促す。

図工	●知識・技能 ・材料の特性や作り方の手順を知り、考えたものを表すことができる。 ・はさみ、のり、クレパス、絵の具の使い方に慣れてきた児童が多いが丁寧に欠ける児童もいる。 ●思考・判断・表現 ・感じたことや、想像したことから表したいことを見付け、材料や表現方法についてどのように表すか考えることができる。 ●主体的に学習に取り組む態度 ・作品を作り出すことを楽しみ、色や形に興味をもっている児童が多い。	○ △ ○ ○	道具の使い方を確認し、時間をかけて作業をすすめられるように時間を設定する。
体育	●知識・技能 ・器械・器具を使った運動遊びでは、日々の体育の授業を通して、扱いに慣れてきた児童が多い。 ●思考・判断・表現 ・ゲームでは、個人個人で活動を楽しむことができる。作戦を立てて、友達に伝えるのは難しい。 ・自身の体の柔軟さや特徴を理解して体を動かすことができない児童もいる。 ●主体的に学習に取り組む態度 ・ルールを守り、安全に気を付けて、意欲的に取り組んでいる児童が多い。 ・友達と協力して、場や用具の安全に気を付けて活動できる児童が多い。	○ △ ○ ○	・個人で考えた作戦をチーム全体に広げる場を設ける。 ・授業の振り返りなどを活用し、全体で発表する機会を設ける。